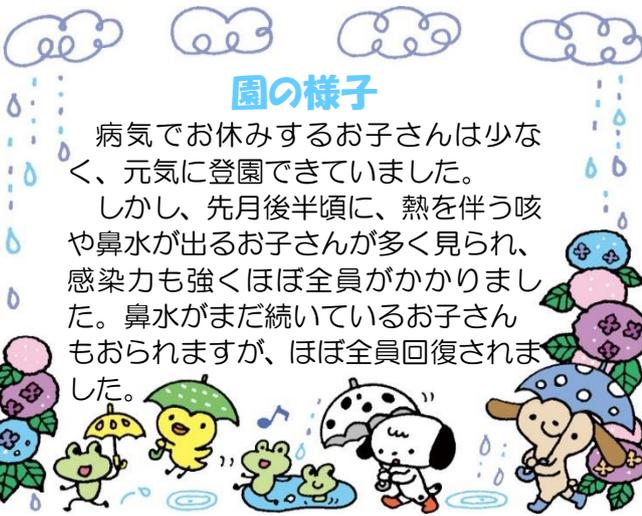




スマイリーハウス保育園

夏日のような日もあれば、風が冷たくどこか肌寒い日もあり、気温差が激しく不安定な日々が続いています。これから梅雨の時期に入ります。梅雨の時期は、温度・湿度ともに高く、じめじめとした環境で体調を崩しやすくなります。お子さんの体調に気を配り、元気に過ごせるようにしていきたいです。



園の様子

病気でお休みするお子さんは少なく、元気に登園できていました。

しかし、先月後半頃に、熱を伴う咳や鼻水が出るお子さんが多く見られ、感染力も強くほぼ全員がかかりました。鼻水がまだ続いているお子さんもおられますが、ほぼ全員回復されました。



6月の保健行事

元気っこ教室

6月3日(金) <ちゅちゅがいのしかた

予防接種調査

6月13日配布 6月20日回収締め切り

身体計測

6月17日(金)

プール前しらみ検査

6月20日(月)

5月元気っこ教室

内科健診・歯科検診の不安を和らげる目的で行いました。練習の成果があり、皆泣かずよい子でスムーズに健診や検診を受けることができました。



おくち【あー】
してください



なんさいですか？
「2さいです」



ぼくの
くちの
なか
は？



デンタルミラー
でみました



「あー」
じょうず！



ひとりずつ
かがみをも
ちました





歯のこと、食べる事、

チェックしてみませんか？



むし歯を予防するには・・・？

「歯みがき」だけでは、歯を守れない

- ① 「歯みがき」でむし歯菌を減らす。
 - ② 「だ液」がいっぱい出るように、歯ごたえのあるものも、しっかり食べる。
 - ③ 「フッ素」などで、歯を強くする。
 - ④ 定期的に、歯科で検診を受ける。
- ①～④を組み合わせると、丈夫な“歯”にしよう!!



「だ液は、天然のクリーニング剤」

だ液は、99%は水で出来ていますが、残りの1%ほどに消化や殺菌、免疫成分があり、私たちの歯を虫歯から守り、刺激や乾燥から、守ってくれています。

ぱぱ、ママ あのね

～ 反対咬合 ～

「受け口」や「下顎前突」ともいわれる。下の歯が、上の歯よりも前に突き出ている状態。

○知っておこう

- ・物が上手に噛めない、発音が舌足らずになる（さ行・た行）、顎に痛みが出るなどの症状がある。



- ・下顎が成長する前（3～6歳頃）に早めの治療をするのがおすすめです。
- ・再発することもある。治療後も定期検診で続けて様子を見てみましょう。

○なぜ、放置してはいけないの？

- ① 噛む力が不十分になる…“噛み切る”という動作が上手く行えないこともある。
- ② 言葉の発音が悪くなる…噛み合わせに隙間が出来ることが原因で、さ行やた行の発音が難しくなることもある。
- ③ 顎の関節に負担がかかり、「顎関節症」になりやすい。
：下のあごは、前後左右の動きが自由に行えるようになっているが、反対咬合の場合、顎全体が固定されてしまうため、負担がかかりやすい。
- ④ 全身のバランスが悪くなる：下あごは、体のバランスを取る時に欠かせないもの。下あごが固定されるため、全身の骨や関節に負担がかかることになる。